Welcome Newsletter

October 2026　婦人より～

今月のニュースレターは、最近起きた、神様が良くして下さった証をシェアします！

半年ぐらい前、働いている介護会社から、TBテストを受けるように言われ病院に行ったところ、しばらく受けていなかった血液検査を受けることになりました。後日、送られて来た検査の結果は、このままいったら病気になる検査値でした。このことから、今まで自分が好きなものを、好きなだけ食べていた食生活を見直すきっかけになりました。牧師婦人に体調のことを話と、体に良い食材のこと、取り方を教えてくださり、体に必要なものを取るように変えられて、先日、再度行った血液検査では、検査値がほぼ正常値に戻り、以前、疲れやすかった体調も改善されました。振り返ると、全てのことが神様の導きの中で起きていて、神様は神の子供を愛してくださっています。神様が与えてくださっている、神様が住まれる体の管理の大切さにも気付き、これからも管理を行っていきます。すべて良き神様に感謝いたします。(K.I)

「愛する者よ。あなたのたましいが幸いを得ているように、あなたがすべての点で幸いを得、また健康であるように祈ります。」（ヨハネの手紙三 １： ２）



一年半前に教会のセラフィムという賛美グループに加えて頂き、ギターを習い始めました。私は昔、ピアノを習った程度で他の楽器はほとんど演奏したことがありませんでした。ギターはいつでもどこでも弾けるし、ギターを奏でながら賛美ができるというところがとても好きです。
最近、教会のMさんといっしょにギター練習を始めました。彼女は練習のあと、指が痛い～と言います。私もはじめは全く同じことを言ってました。習いたての分からなさや痛みが自分と重なって、自分はあの時をどうやって乗り越えてきたかを思い出し、分かち合っています。毎週一回の短い時間ですがとても楽しい時間です。ギターを通して新しい仲間が与えられること、願った通りのことを神様がしてくださいました。これからもますます賛美の輪が広がっていくことを感謝します。(H.N)



約１年半前からあるお宅に伺い、病気の娘さんのケアの仕事を週２日行っています。働き始めた時は、神様が遣わして下さった場所と信じ、ご家族の方々に機会あるたびに、イエス様の福音を伝えていました。ここ最近、仕事場にも慣れ、自分が願ったように環境も動かず、自分は何の為にこの場所で働いているのか？ 続けている動機は何だろう？ と考え始めていました。何週間もその質問の答えを探しながら、働いている時がありました。ある日、娘さんの食事のお手伝いをしている時、彼女が使っている車椅子に座って、食事を口に運んでいたのですが、車椅子のコントローラを何気なく見た際、１年前、彼女の誕生日に送った品物の１つ、聖書の御言葉が刻印されたゴム製（シリコン製）のブレスレットが掛けてあるのを見ました。このブレスレットは以前、教会の聖書セミナーの売店販売で、牧師先生の娘さんが献品されたものを購入した物でした。そのブレスレットを見た時、娘さんが使われてることへの嬉しさと、私が質問していたことへの神様からの答えだとわかり、それが何よりの喜びでした。

神様は見えないけど、すべてをご存じでいつも働いていてくださり、神様のちょうど良い時に、ご自分の御業を起こされることを信じて、遣わされた場所で、忠実に自分が出来ることを行い続けようと改めて思い起こされた出来事でした。感謝します！(R.L)

**みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。
（２テモテ４： ２）**



１０月１１日、日曜礼拝後、婦人グループで賛美会を行いました。グループで集まる時間が少なく、練習不足で日程を延ばすことを考えましたが、牧師夫人が励ましてくださり、婦人の賛美会を行うことができました。
技術的には練習不足でしたが、賛美をしながら、歌詞を賛美していると、とても嬉しくなり、心に喜びがあり、励まされ、力が与えられました。イエス様を知る前はこの喜びは無かったことを思い、イエス様とつながることができたこと神様に感謝します。(H.S)







心の垢を洗い流してくださる方
先日、一人で日本に帰る機会が与えられ、久しぶりに温泉に行ってきました。
そこには韓国式の垢すりがあり、数年ぶりにお願いすることにしました。垢すりをすると、自分の体についていた古い角質や汚れが、驚くほど出てきます。まるで、消しゴムで鉛筆の文字を消したときに出る消しカスのように、ポロポロと丸まって出てくるのです。これまでの人生で、垢すりを経験したのは今回で4回目になりますが、毎回、ある思いが心をよぎります。「体の垢はこうして落とすことができるけれど、心の垢は自分では落とすことができないんだな……」私は、人として過去の出来事を心に抱えながら生きていました。これまでの人生を振り返ると、あのとき口にしてしまった言葉、取ってしまった行動、できることならやり直したいと思う出来事があります。すべてが良い行いや言葉だったわけではありません。時折、そんな過去を思い出すと、自分では消すことのできない記憶が、心から希望を奪ってしまいそうになることがあります。けれども、イエス・キリストを信じてクリスチャンになってから、私は聖書に書かれている、ある約束を思い起こすようになりました。

**「もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます。」
（ヨハネの手紙 第一１： ９）**

自分では消しゴムで消すことのできない過去。自分の力では洗い流すことのできない罪。その罪を、イエスさまは赦し、きよめてくださるという聖書の約束。過去に起きた出来事がなくなるわけではありません。けれども、その過去の罪が赦されていると知ることで、私はもう過去に縛られず、希望をもって前を向くことができるようになりました。今回も垢すりを終えて、さっぱりとした体で温泉を出ながら、改めてイエスさまが与えてくださった赦しの恵みを思いました。体の垢は、またたまります。でも、イエスさまが与えてくださる罪の赦しは、私が自分の力で得られるものではなく、神さまからの恵みです。この恵みに感謝しながら、今日も新しい一日を歩んでいきたいと思います。(J.K)







